

令和6年2月15日

鳥取県知事定例記者会見

鳥取県令和6年度当初予算案

地震・津波への緊急対策をはじめとする災害激甚化への対応や人口減少が進む地域・集落の生活基盤の維持確保など、喫緊の政策課題に対応する積極型予算を編成

「魅力」「推し」発進！

予算規模 **360,484** 百万円

災害に強いふるさとづくり

170億円

- ✓ 能登半島地震を踏まえた緊急対策 19億円
- ✓ 防災DXなど防災対策の拡充 15億円
- ✓ 台風第7号災害からの創造的復興 50億円
- ✓ 災害を乗り越えるインフラ整備 86億円

安心して住める支え愛ふるさとづくり

151億円

- ✓ 人口減少による課題の解決 13億円
- ✓ コミュニティと生活基盤の充実 60億円
- ✓ 長引く物価高騰への対応 15億円
- ✓ 脱炭素・命と健康・支え愛のまちづくり 63億円

ひとりひとりが輝くふるさとづくり

152億円

- ✓ 若者世代が活躍する地域社会の実現 10億円
- ✓ 「シン・子育て王国」の本格始動 21億円
- ✓ とっとりの未来を創る人財育成 67億円
- ✓ ねんりんピックや美術館開館等を捉えた
スポーツ・芸術・文化の振興 53億円

産業と交流で活力あるふるさとづくり

164億円

- ✓ 大交流時代の観光の戦略的展開 31億円
- ✓ 新産業や雇用の振興・DXの推進 53億円
- ✓ 賃上げや物流2024年問題等に対応する
経営力の確保・強化 27億円
- ✓ 農林水産業の持続性確保・食パラダイスの発展 53億円

県議会議員鳥取市選挙区の補欠選挙経費については令和5年度補正予算（専決）を検討 1億円

令和6年度当初予算案

鳥取の未来が来る「ミラ・クル・とっとり運動」の推進

ミラ・クル・とっとり運動推進事業（79百万円）

「令和新時代創造県民運動」により展開してきた地域づくり活動について、**コロナ禍からの再興を果たすため、活動団体のネットワークを強化しつつ、**新たな県民運動として再始動

▶ 「ミラ・クル・とっとりプラットフォーム」の創設

とっとり県民活動活性化センターが主体となり、NPOをはじめとする活動団体が緩やかにつながって地域課題の解決を目指す新たなプラットフォームを創設

▶ とっとり県民活動活性化センターによる支援強化

地域・活動団体への積極的なアウトリーチを行い、「地域活動の発掘・組織化」を市町村とともに強力に支援



脱炭素社会に向けたエコライフへの転換

置き配ボックスの普及（トトリポーン！普及啓発事業）（4百万円）

▶ 脱炭素につながるライフスタイルの推進

ネットショッピング等の再配達削減に効果のある「置き配」を推進するため、家庭が購入する「置き配ボックス」の費用を支援（上限額：5千円/家庭）

カーボンニュートラルに向けた中規模建築物 ZEB普及促進モデル事業（26百万円）

▶ 脱炭素に配慮した建築物（ZEB）の普及

高断熱等によって使用エネルギーを減らし、太陽光発電等でエネルギーを作り出すことで、正味のエネルギー消費量ゼロを実現する「ZEB」建築にかかる費用を支援 ※国補助対象外の2,000㎡未満の建築物が対象
（上限額：〔設計費〕800千円、〔工事費〕5,000千円、補助率：1/3）

とっとりの産業の未来形を発信！

とっとり産業総合展示会開催事業（とっとり産業未来フェス）（30百万円）

県内企業の魅力的な「モノづくり技術」、「IT先端技術」「音楽・アート」等を融合させ、**企業・行政・学術機関（大学等）などが連携し、**近隣県からも集客できる新たな総合産業発信イベントを開催（令和6年秋頃を予定）

<出展イメージ>

- ・県内企業・クリエイター・研究機関等による独自の技術・製品の展示
- ・県内情報関連企業によるIT技術とエレクトロニクスの展示
- ・音楽・アートなどコンテンツビジネスと産業分野の新技术との融合による新たな発信

県立高校の教育環境の充実

海洋練習船「若鳥丸」代船建造事業（679百万円）

県立境港総合技術高校の海洋練習船「若鳥丸」の代船建造スタート

※R6・7建造費：総額約23億円（R8年度就航予定）

※スマート水産業・海洋調査研究機器、船内住環境改善等、機能を強化して水産・海運人材を育成



県立高等学校トイレ洋式化加速事業（90百万円）

県立高等学校の教室棟・寄宿舎のトイレを今後3カ年（R6～8）で集中的に洋式化



2月17日(土)~18日(日)

志賀町・石川県庁訪問、派遣職員激励

災害対策

県・市町村防災対策研究会等のこれまでの検討を踏まえ、必要に応じ前倒ししてR6当初予算で事業化

初動対応の改善

~DX・機関連携による迅速対応~

■デジタルによる司令塔機能の強化

- ・広島県と共同で総合防災情報システム構築【全国初】[139百万円]

- ・情報の一元化と共有
- ・円滑な広域支援、防災ノウハウの共有

・ドローンによる偵察・物資輸送

県ドローンチーム強化、資格取得、民間連携

■自衛隊など実動組織との連携強化

- ・対応訓練[2百万円]、初動対応計画作成

※2月15日、初動対応態勢に係る会合開催

支援物資対策

~ラストワンマイルの仕組み作り~

■物資受入・管理・配送体制

- ・避難所・避難者への物資配送戦略作成
- ・物資拠点確保、配送訓練(市町村・事業者と連携)【2百万円(初動訓練)】

孤立集落対策

~孤立を想定した備えの充実~

■孤立可能性集落の実態把握・対策検討

- ・集落調査(ヘリ降着場所等)[4百万円]
- ・救援・救助のための戦略を作成

■「支え愛避難所」の事前の備え

- ・通信手段確保(衛星通信機器)[4百万円]

津波避難対策

~迅速・確実な住民避難の実現~

■津波避難に係る県民啓発・訓練

- ・シンポジウム開催等[2百万円]
- ・津波対応避難訓練実施(市町村と連携)
- ・市町村と共同での講演会開催

地震・津波防災講演会の開催

<境港市> 2月23日(金・祝)

境港市民交流センター、鳥大・香川教授

<岩美町> 3月10日(日) 調整中

岩美町中央公民館、鳥大・西田名誉教授

市町村支援

~市町村の対策強化を緊急支援~

■防災・危機管理対策交付金の拡充

- ・地震津波対策緊急対応枠の臨時的設置[25百万円]

<市町村活用例>

- ・避難所の資機材充実(ベッド・簡易トイレ等)
- ・支え愛避難所備蓄整備(非常食、ストーブ等)
- ・津波ハザードマップの住民周知、住民避難訓練

■災害廃棄物処理対策の強化

- ・計画の策定・訓練[5百万円]

令和5年台風第7号災害からの復旧のための土木技師等の給与上の新たな措置

全国初

<対象> 60歳超の土木技師等

<期間> 令和6・7年度

■初任給調整手当の支給

月額20,000円

■退職手当の加算

期間中の在職期間1年度につき、1%加算

民主主義や人と暮らしを守るために

R6新規 昨年9月発足『先端技術と民主主義のあり方を考える研究会』の議論を基に (10百万円)

- 主な意見
- フェイク情報対策として行政が正しい情報を発信することが重要
 - フェイク情報が生まれる背景や仕組みを学ぶリテラシー啓発が必要 など

■『フェイク情報対応実証チーム』の設置

- ・米大統領選をはじめ世界中でAIによるフェイクが深刻化
 - ・大規模災害や感染症流行時等に、**フェイク情報(偽・誤情報)の拡散リスク**が高まる傾向
- ⇒県民や地域の安心・安全を守るため、庁内に対応実証チームを新設し、安心情報の発信などを強化
- ⇒有識者のアドバイスを得ながら、慎重に実証を重ねていく



フェイク情報対応実証チーム

■チーム構成：デジタルや広報を所管する所属を中心に、事案内容に関連する所属がフレキシブルに参画

①地域の重要な事項についての拡散情報を収集
デジタル技術でSNSやネット上の拡散ワードを収集・分析

②フェイク情報など懸念される拡散情報を洗い出し
県が保有する情報との照合、直接聞き取り、現地確認等

③安心情報、注意喚起情報を発信
とりネット、県公式SNS等を活用。必要によりプレスリリース

■シンポジウムの開催

経済・福祉・教育・人権をはじめ地域に関わるステークホルダーを招聘し、研究会の議論を参考に自治体におけるデジタル社会との向き合い方について議論

■庁内研修の実施

デジタル技術を活用した施策を検討・実施するにあたり自治体職員として必要となる情報リテラシーについて、職員が修得する研修を実施

農林水産対策

■「食パラダイス鳥取県」の本格展開

➤ 世界に誇るべき「食パラダイス鳥取県」推進事業【2.9億円】

◎「燗酒と美食の饗宴」燗-1（椀）グランプリ

- 全国から日本酒・燗酒ファンや飲食店等が参加！
- 燗付けに秀でた飲食店と協力して、燗の技術と純米酒・美食の組み合わせを競う

◎鳥取和牛フェスタin大山牛馬市（ねんりんピック2024関連イベント）

- 和牛の聖地「大山博労座」で、鳥取和牛を味わい尽くす食イベントを開催
- 筋肉タレントと一緒に、「食パラダイス鳥取県」と「ねんりんピック」を大々的にアピール

■農業生産1千億円の達成に向けて



➤ とともに目指す農業生産1千億円！産地・担い手強化支援事業【2.4億円】

- JAの生産拡大に向けた生産・販売対策、担い手育成を総合支援
★主要品目（白ねぎ、ブロッコリー、スイカ、梨等）のアップ 上限額を1.2倍
- 担い手農家による販売額向上、経営規模の拡大等に向けた取組を支援
★販売額の倍増 上限額を2倍

■飼料等物価高騰対策



➤ 和子牛飼料緊急支援事業【0.5億円】

- 値段が高い大きな子牛への掛かり増し飼料費支援（1頭3万円）

➤ 畜産経営緊急救済事業【0.4億円】

- 経営が悪化している酪農家、養鶏農家、肉牛・養豚農家を支援

■台風第7号災害からの営農再開への支援【0.3億円】

- 農業機械や格納庫の再整備
- 給水ポンプ設置による用水の確保支援
- 復旧農地の地力向上に必要な掛かり増し肥料費支援
- 転作品目の作付に要する経費支援

■地球温暖化に対応した農業の推進【0.2億円】

- 高温耐性の米品種（星空舞など）への作付転換
- イネカメムシ等の防除対策
- 鶏舎・牛舎への暑熱対策導入支援
- かんきつ類など品種転換に向けた試験研究や現地実証

■皆伐再造林の推進

➤ 目指せ！皆伐再造林150haプロジェクト【0.3億円】

- ドローン測量と画像解析技術を活用した計測作業の省力化の実証と植栽のための草刈作業のスマート機器導入による省力化等支援を実施

■ブルーカーボンによる豊かな海づくり

➤ 豊かな海再生事業【0.1億円】

- ブルーカーボンのクレジット認証を全県に拡大するとともに、アラメに替わる高水温耐性の次の藻場造成種の選定やワカメ養殖によるクレジット化導入可能性調査を実施



オーバードーズ対策

全国で社会問題化している、若者等による「オーバードーズ」 (市販薬の過剰摂取)について、対策を強化

R4 県内救急搬送人数

71件 うち20代以下 35件

最近の県内での
確認事例

人間関係の悩み等で市販薬を100錠以上摂取し救急搬送
(それまでも不安な気持ちが強くなった時等にオーバードーズした経歴あり)

- ▶ オーバードーズ相談窓口を本日開設 鳥取県庁 医療・保険課(0857-26-7203)ほか最寄りの保健所
- ▶ 薬局・販売業者への注意喚起・指導 薬局・販売業者に対して医薬品販売に係る注意喚起、立入調査を実施
- ▶ 薬物乱用防止教室の内容を拡充 薬物乱用防止教室にオーバードーズに関する内容を追加

鳥取県薬物の濫用の防止に 関する条例改正(案)

「濫用等のおそれのある医薬品」の適正使用
を条例で規定

【県】 濫用等のおそれのある医薬品の適正使用
に関する施策を総合的・計画的に推進

【県民】 濫用等のおそれのある医薬品につい
ては適正に使用

【販売業者】 濫用等のおそれのある医薬品を
購入する者に対し、必要な確認を行うとともに、
情報提供を行う等濫用防止に協力

若年者等による市販薬過剰摂取対策事業 【令和6年度当初予算案:1.2百万円】

市販薬過剰摂取について調査検討

医師、薬剤師、学校関係者等を交え、オーバ
ードーズによる搬送状況や、医薬品の多量購入の実
態等の情報を共有し、その危険性の教育・啓発や、
市販薬販売対策について幅広く検討

相談窓口の設置と普及

- ・オーバードーズ相談窓口をはじめ、若者向けの
こころの相談窓口などを周知
- ・関連窓口を掲載した啓発資材作成、配布

鳥取県薬物濫用対策 推進計画改定

(第3期:令和6年4月～令和11年3月)

市販薬のオーバードーズ対策を追加

県民への教育、学習及び啓発活動の推進

小中学生等を対象とした薬物乱用防止教室に、
オーバードーズ対策の内容も追加

監視、指導及び取締りの強化

市販薬の販売業者に対する指導徹底

薬物依存症等の方への相談体制充実

オーバードーズ相談窓口の設置と普及

当面の対応

令和6年度に向けた対応

新型コロナ第10波 インフルエンザ(B型)に注意

【新型コロナ】 <2024年6週(2/5~2/11)定点当たり患者報告数> 東部13.50人 中部18.33人 西部13.09人

(患者数)・2024年6週は増加 ※県内全域に注意レベル(流行情報)を発表中
 ・10代以下が約50%を占める 20~50代も急増の兆し

(入院患者数)・入院患者は減少傾向
 (院内集団感染で一時的な増加あり 中等症Ⅱ以上患者に顕著な増加傾向なし)

(変異株)・オミクロン株が流行中(BA.2.86系統(JN.1系統を含む)が顕著に増加)
 ➔ 優先変異株が変わるときは、患者数が増加する傾向あり

【インフルエンザ】

(流行状況)・2/14、再び全県に注意報発令
 ・1月以降、B型の流行が始まる(12月まではA型中心)
 (参考)通例、11月頃からA型の流行が始まり、後半(春先)にB型が流行するが、今シーズンは全体的に流行前倒し

➔ A型に感染した方でも、B型に再感染する可能性があるため、
 今後、患者の再増加のおそれあり

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】 県内全域に警報を発令中(R5/10/4~)

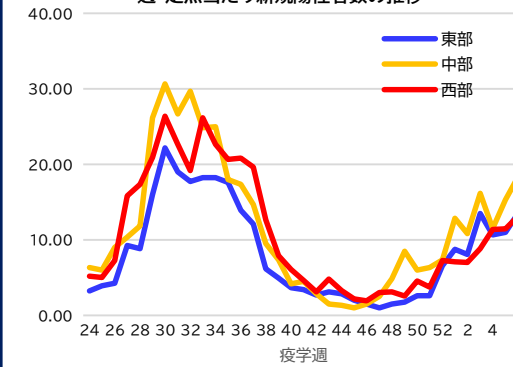
新型コロナの入院患者への対応

- 新型コロナの入院患者数は、174名(2/11) (参考)病床確保要請が可能となる入院患者数:146人
 院内集団感染の影響により、入院者数は高い水準にあるが、中等症Ⅱ以上の患者数に顕著な増加傾向は確認されていない。
 ➔ 病床確保によらず、通常医療として引き続き対応を実施

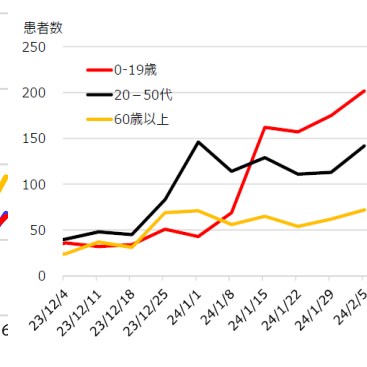
県民の皆様へ ~新型コロナ、インフルに引き続き注意~

- 新型コロナ、インフルエンザの感染対策は共通です。重症化リスクの高い高齢者等の健康を守るため、基本的な感染防止対策(手指消毒、換気の徹底、場面に応じたマスク着用等)の励行をお願いします。

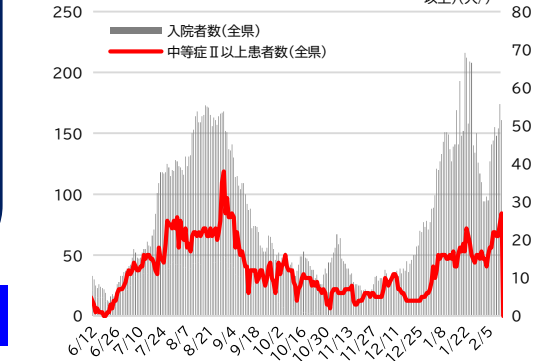
新型コロナ 週・定点当たり新規陽性者数の推移



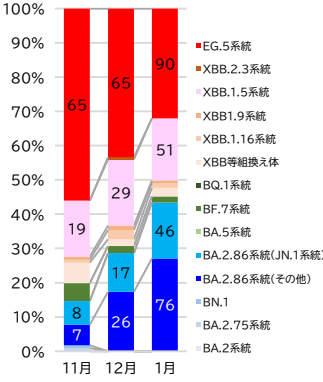
新型コロナ 年代別患者数の推移



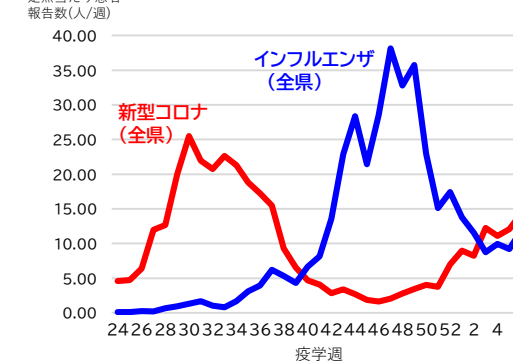
新型コロナ入院患者数及び 中等症Ⅱ以上患者数



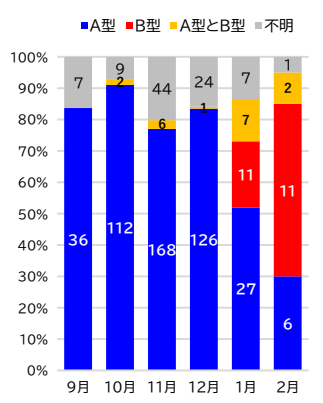
新型コロナゲノム解析(月別)



新型コロナ及びインフルエンザ患者報告数の推移(定点医療機関・週当たり)



インフル集団感染事例(型別)



西部犬猫センター愛称決定

◆愛称「オーリーブ」

<愛称説明> ※応募総数:230件
○犬・猫みんな(all)が、健やかに生きて(live)
欲しい→all live(オールリーブ)を短縮

<命名者>浦田 純子さん (倉吉市在住)

(運営)(一社)アニマルパートナーあうん (米子市)
・譲渡促進を強化、新たに動物愛護の普及啓発

3月25日(月) 完成式
4月業務開始・オープニングイベント

ヤマタ鳥取砂丘ステーション 予約開始!

新たなキャンプ・グランピング場
ヤマタ鳥取砂丘ステーションがオープン

2月16日から宿泊予約開始!

4月19日 完成記念式典
4月27日 グランドオープン・一般宿泊開始

ネーミングライツによる 愛称が4月スタート!

■ 県立倉吉未来中心
「エースパック未来中心」

■ 県立鳥取二十世紀梨記念館
「エースパックなしっこ館」

<企業概要>

株式会社エースパック (大阪市)
食品用トレイ・パックをはじめとする各種包装資材の
企画・開発・製造 (エースパック鳥取倉吉工場)

<期間>

3年間



テントサウナの許可手続き等の見直し

許可申請の区分(移動営業)を追加

(現状)
営業する**場所ごと**に許可申請
が必要 (公衆浴場並み)

○ **移動営業の事業者申請可**
※移動する場所毎の
申請は不要

営業に必要となる措置 (措置基準) の緩和

・外から見えない構造の設置
・男女別に区画した施設構造

テントサウナで
水着着用時は
不要とする

・サウナ室の**温度調整装置**
・男女専用の**便所**
・鍵付きの**脱衣箱**の設置

テントサウナ
では**不要**とする

■ 県立鳥取砂丘こどもの国 「アイエム電子鳥取砂丘こどもの国」

<企業概要>

アイエム電子株式会社 (鳥取市)
車載電装部品を中心とした電子機器製造受託サー
ビス(EMS)

<期間>

5年間



「とっとりdiaryがくせい部」スタート

学生限定！ #とっとりdiaryがくせい部

「#とっとりdiaryがくせい部」を付けて、若者目線でリアルなとっとり暮らしや本県の魅力をSNSで投稿。

県内外の若者が本県の魅力を発見・再認識→定着、IJUターンを促進

対象者：15歳～25歳の学生（高校生、大学生、専門学校生など）

期間：2月14日～3月13日

- ・若者に人気のあるスマホ関連グッズで、自分の投稿作品を思い出として形に残せるオリジナルステッカーやキーホルダーをプレゼント。
- ・投稿作品をとっとりdiaryインスタグラム等で県内外へ拡散。



とっとり未来共創フォーラム



幅広いステークホルダーとの協働×テクノロジーにより、住民目線で地域課題解決を目指すフォーラムを2月16日に開催！

◆**基調講演** 人と地域が創り、人と地域に貢献するデジタル文明
村井 純 氏(慶應義塾大学 教授、内閣官房参与・デジタル政策担当)

◆**プレゼンテーション** 「共創」の取組事例と今後の展望 日南町×慶應大

◆**特別講演** 人間情報で人を支える ～ライフスタイルイノベーション～
津田 敦也 氏(セイコーエプソン (株) DX 推進本部 副本部長)

◆パネルディスカッション

「インターネットの父」村井純氏（慶應大教授）
「ブラウザの母」瀧田佐登子氏（県政顧問）
県CIO補佐官・柴崎亮介氏など、
世界や全国で活躍する有識者が登壇！



村井 純 氏



瀧田佐登子 氏



柴崎亮介 氏

「バーチャルとっとり」スタート

メタバース上で県内外の若者交流が可能なアプリ「バーチャルとっとり」を構築！若者による**キックオフイベント開催！** 参加者募集中！

バーチャル同窓会「3 3 (Sunshine)祭」

- ◆ 3月3日に30歳の時にコロナ禍で同窓会を開くことができなかった県内外の若者を中心にメタバース上で再会
- ◆ 30代に認知度の高いパークマンサー氏のトークショー等を開催



バーチャル婚活 / メタバースで開催する婚活イベント

- ♥ 3月20日に「バーチャルとっとり」内に設置する婚活イベント空間にて開催
- ♥ 婚活力アップセミナーやクイズ大会、○×ゲームによる交流、1対1トークを実施
- ♥ メタバースでマッチングしたカップルを対象に3月23日鳥取市内でリアルデートイベント

3月末にスマホアプリ「バーチャルとっとり」正式リリース！

就活スタート！県内3か所で学生向けイベント開催！

3か所で延べ300社以上の県内優良企業が就活生を待っています！

とっとり企業ガイダンス(3/7米子、3/13鳥取)

県内最大級の合同企業説明会。大手サイトに掲載されていない企業も多数参加！

★倉吉市と県が協力して中部地区でのイベントを初開催

くらし企業ガイダンス(3/14倉吉)

地元とのコラボで実現。本イベントのみ参加の地元優良企業も！



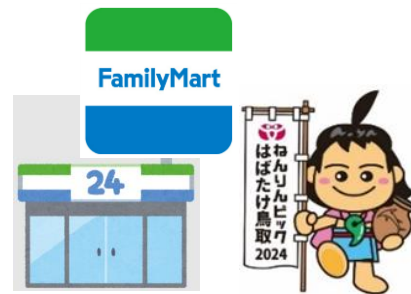
参加者特典

- ☆県内無料送迎バス ☆参加者限定企業ガイドプレゼント
- ☆県公式アプリ「とりふる」→最大1,500ポイントGET

あと247日 ねんりんピックのさらなる盛り上げへ！

(株)ファミリーマートとタイアップした大会PRを展開

- 県内全店舗と鳥根県の一部店舗（70店舗）に大会のぼり旗を設置（2/20（火）～）
- 鳥根県の地元食材を活用したコラボ商品も今後発売を検討中



県内市町村で大会旗リレーイベントを開催中！

- 2/25(日)大山町、3/3(日)若桜町、3/10(日)日吉津村、3/17(日)伯耆町、3/24(日)日南町で市町村と連携してPR



鳥根市の「かれい」全国第1位！「カレールウ」全国第2位！

- ★「かれい」の消費支出額は、20年以上連続で全国第1位！
- ★「カレイ&カレー」でカレールウの首位奪還！

2023年総務省
家計調査報告

【かれい】		
順位	都市	支出額
1	鳥根市	3,071円
2	秋田市	2,262円
3	青森市	2,029円

『華麗なるカレイ&カレーイベント』 (R6.3.17に地場産プラザわったいなで開催)

- ・ステージイベントでカレイ味のカレイ料理
- ・プロ落語家の大喜利、落語による県産魚PR



【カレールウ】		
順位	都市	支出額
1	金沢市	1,630円
2	鳥根市	1,596円
3	高知市	1,593円

『あなたの家の日本一カレー選手権』 (R6.3)

- ・県産食材を用いたカレーレシピをSNSで募集
- ・入賞者にはカレーにあう「プリンセスかおり」など県産品をプレゼント



大阪・関西万博

鳥根県魅力発信強化戦略会議(2月15日)

万博に向け官民一体となり2025年県内フェア準備や観光・食の発信、誘客プロモーションを推進！

内容：関西パビリオン・鳥根県ゾーン等の万博戦略の共有
誘客等に向けた戦略（とっとりリアル・パビリオン）の強化
出席者：市町村、観光連盟、商工会議所連合会、商工会連合会、



山陰インバウンド機構 等

- 鳥根県を万博のサテライト会場「とっとりリアル・パビリオン」として、万博開幕前から国内外に発信。万博期間中だけの特別なプログラムへの誘客を強化。

「チームドラゴン！とっとりリュウ」結成

- ・若手県職員を中心に「チームドラゴン！とっとりリュウ」を結成
- ・キックオフとして中日ドラゴンズの拠がある中京圏において、竜の化身「とっとりリュウ県」の竜パワースポットなど、観光・物産PR活動を展開

とっとりリュウ県周遊キャンペーン(2/15～3/31)

専用アプリをインストールし対象スポットを巡ると、抽選でプレゼント

- ・鳥根旅行券 5名
- ・鳥根県の特産品セット 25名

龍見台、燕趙園、神崎神社、解脱寺 ほか

